

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	アルミ蒸着不織布MSDS
会社名	株式会社DAWN
住所	神奈川県伊勢原市伊勢原1-13-5 綾部ビル3F
電話番号	0463-90-1320
FAX番号	
推奨用途及び使用上の制限	生活資材用途等

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
有害性	通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さい。
物理的及び化学的危険性	可燃性であり、着火源があれば燃える。
特有の危険有害性	燃焼／溶融などの高温でアセトアルデヒドなどの有害ガスなどが発生する可能性がある。
GHS分類	GHS分類に該当しない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名又は一般名	ホ [®] リエレンテレフタレート	アルミニウム	二酸化チタン
別名	ホ [®] リエステル、PET	アルミニウム	酸化チタン
含有量	98%以上	1%未満	約0.35%
化学特性（化学式）	$-(\text{-CO}\text{C}_6\text{H}_4\text{COOCH}_2\text{CH}_2\text{O-})_n\text{-Al}$		TiO ₂
CAS番号	25038-59-9	7429-90-5	13463-67-7
官報公示整理番号 化審法(安衛法)	7-1022(公表)	なし	1-558(公表)
危険有害成分			
化学物質管理促進法			
指定化学物質(政令番号)	該当しない。		
労働安全衛生法			
通知対象物(政令番号)	該当しない。		
毒物劇物取締法			
毒物・劇物(政令番号)	該当しない。		

4. 応急措置

吸入した場合	綿埃などの粉塵や、溶融物等から発生するガスを吸って気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。皮膚上の固まった樹脂は無理にははがさず、医師に診断を受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で5分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

製品安全データシート

5. 火災時の措置

消火剤

特有の危険有害性

水、二酸化炭素、泡消化剤、粉末消化剤

不完全燃焼すると一酸化炭素、アセトアルデヒド等の有毒ガスを発生する。大量に燃焼した場合、アルミニウム酸化物のヒュームが発生する。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

風上から、水や二酸化炭素等により消火する。

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置

人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。必要に応じて保護具(保護用手袋、保護用マスクなど)を着用し、皮膚への付着、眼、口への侵入を防ぐ。

環境に対する注意事項

環境への影響は小さいが、長期間残留する考えられるので、環境中に廃棄しない。

回収、中和

(封じ込め、浄化方法・機材)

箒や掃除機等で全量回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

常温では引火性はないが、消防法指定可燃物であり、近くでみだりに火気を使用しない。

注意事項

(局所排気・全体換気)

粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは、換気を十分行う。

安全取扱い

注意事項(接触回避)

高速で走行させるなどの作業の場合は皮膚の擦過傷のおそれなどがあるので、保護具を着用し、皮膚などに触れないように注意する。ロール状物は重量物のため、落下しないように注意する。

保管

適切な保管条件

消防法指定可燃物であり、市町村条例に従う。

(消火設備、屋内貯蔵、取扱所など)

重量物のため荷崩れをふせぐ。

風雨や直射日光を避ける。

強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。

紙またはポリエチレンフィルム、ポリエステルフィルム。

容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

溶融を伴う作業がある場合は溶融樹脂と作業者の間に隔壁を設ける。粉塵が発生する場合は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

粉塵の発生や、高速走行などの状況に応じて保護具を着用する。

手の保護具

粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。

眼の保護具

シートによる擦過傷を防止するために保護手袋を着用する。

皮膚及び身体の保護具

粉塵が多い場合は保護眼鏡の着用が望ましい。

シートによる擦過傷や、溶融を伴う作業等では保護衣を着用する。

製品安全データシート

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色

臭い

pH

融点・凝固点

引火点(°C)

爆発範囲

比重(相対密度)

溶解度

自然発火温度(°C)

分解温度(°C)

燃焼性

固体 ロール状

白色、黒色など(品番によって色は異なる)を基本とし、片面に金属光沢層を有する。

無臭

該当しない

255°C~260°C PET

346°C~400°C PET

なし

1.35~1.40g/cm³(23°C)

水 :不溶

PETは通常の溶剤に不溶、濃硫酸、フェノール類:溶解

480°C以上

480°C以上

可燃性。着火源あれば燃える。

10. 安定性及び反応性

安定性、反応性、危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

常温、単独では安全である。

熔融などの高温では一部熱分解する。着火源あれば燃える。

高温、炎

強酸化剤など。

熔融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド等の有毒ガスを発生する。多量に熔融、燃焼した場合には、アルミニウム酸化物のヒュームが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性・刺激性

眼に対する重篤な損傷・刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回曝露)

特定標的臓器毒性(反復曝露)

吸引性呼吸器有害性

主成分は高分子であり、摂取しても吸収されないため毒性は低いと考えられる。

区分外

ないと考えられる。

熔融時に発生するガスは、眼を刺激するおそれがある。

熔融時に発生するガスは、皮膚を刺激するおそれがある。

ないと考えられる。

ないと考えられる。

ないと考えられる。

ないと考えられる。

ないと考えられる。

ないと考えられる。

製品安全データシート

12. 環境影響情報

生態毒性

高分子で有り、細胞壁を通過できないので急性・慢性ともに低いと考えられる。

残留性・分解性

生分解性なく安定で、環境中に長期間残留すると考えられる。

生体蓄積性

高分子で生体内に吸収されないため生体蓄積性はないと考えられる。

土壌中の移動性

水に溶解しないのでないと考えられる。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄物処理法の廃プラスチック類に該当する。生産廃棄物処理業者若しくは地方公務員団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託する。焼却するときは、管理された焼却設備を用いて、廃棄物処理法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法等に従って処理する。

汚染容器及び包装

残余廃棄物と同じ。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告の定義上の危険物には該当しない。

国連番号

非該当

海洋汚染物質

輸送に関する法規制には該当しない。

国内規制

輸送の特定の安全対策及び条件

重量物のため、転倒、落下がないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

破袋の恐れがあるので、水濡れや、乱暴な扱いはしない。

15. 適用法令

消防法

指定可燃物

廃棄物処理法

産業廃棄物、廃プラスチック類

16. その他の情報

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。

また、注意事項は通常の手扱いを対象とした物ですので、特別の手扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は、情報提供を主目的とするものであって、保証する物ではありません。